

みずほCustomer Desk Report 2023/01/10号(As of 2023/01/09)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	131.82	1.0665	140.51	1.2122	0.6896
SYD-NY High	132.66	1.0760	141.90	1.2209	0.6950
SYD-NY Low	131.31	1.0640	140.19	1.2092	0.6875
NY 5:00 PM	131.90	1.0733	141.54	1.2181	0.6914
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,517.65	▲ 112.96	日本2年債	-	-
NASDAQ	10,635.65	66.35	日本10年債	-	-
S&P	3,892.09	▲ 2.99	米国2年債	4.2067%	▲0.0491%
日経平均	-	-	米国5年債	3.6660%	▲0.0372%
TOPIX	-	-	米国10年債	3.5257%	▲0.0324%
シカゴ日経先物	26,225.00	30.00	独10年債	2.2165%	0.0095%
ロンドンFT	7,724.94	25.45	英10年債	3.5280%	0.0575%
DAX	14,792.83	182.81	豪10年債	3.7370%	▲0.0800%
ハンセン指数	21,388.34	396.70	USDJPY 1M Vol	14.43%	0.22%
上海総合	3,176.08	18.45	USDJPY 3M Vol	13.00%	▲0.05%
NY金	1,877.80	8.10	USDJPY 6M Vol	12.03%	▲0.10%
WTI	74.63	0.86	USDJPY 1M 25RR	▲1.35%	Yen Call Over
CRB指数	268.64	3.81	EURJPY 3M Vol	12.34%	▲0.06%
ドルインデックス	103.00	▲ 0.88	EURJPY 6M Vol	11.84%	▲0.05%

東京	ドル円はオセアニア時間に132.28まで上昇した後、値を戻し131.82レベルでアジア時間オープン。オープン直後に下げ止まり一時132円台を回復するも、その後は前週末の米12月雇用統計における賃金減速とISM非製造業指数の悪化が意識されてか、ドル売りの流れを引き継ぎドル円は軟調な展開へ。しかし東京休日で参加者も少ない中、下値は限定的となり131.31をつけた後は反転上昇。131.80レベルにてクローズ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は131.80レベルでオープン。特段材料は観測されず動意に乏しい値動きに終始。朝方はユーロとポンドが対円で買われたことでドル円は連れ高となり一時132.66まで切り上げる局面もあったが、ロンドン時間の正午あたりにドル売りが優勢となり、すぐに反落。132.27レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	先週の米雇用統計、ISM非製造業景況指数結果を受け、利上げ幅がやや縮小されるとの見方や、中国が隔離措置を本日10日から撤廃したことでのリスクオフのドル売りも加わり、海外市場で131.31まで下落するが、その後は円売りに下値をサポートされ、132.66まで戻し、132.27レベルでNYオープン。朝方は債券市場で先週のショートの巻き戻しからか買いが先行し、米金利が低下する動きにドル売りが更に強まり、131.56まで下落する。午後は、デーリーSF連銀総裁が「コア・サービスのインフレ率はまだFedが望むようなレベルに低下していない」との発言が伝わり、ボスティック・アトランタ連銀総裁の「金利は5～5.25%に上昇し、2024年中も維持することを支持」との発言が伝わったが、ドル円の反応は限定的となるが、プラス圏で推移していたダウがマイナス圏へ下落する動きに円買いが優勢となり131.54まで下落する。終盤に掛けてはややドルが買い戻され、131.90レベルでクローズした。一方、ユーロドルは先週からのドル売りが継続したことから海外市場で1.0699まで戻し、1.0689レベルでNYオープン。朝方は米金利が低下する動きに下値を切り上げ、12/15に付けた直近の高値1.0737を上抜けし、1.0760まで上昇する。午後は調整からややドルが買い戻されたことからじりじりと反落し、1.0733レベルでクローズした。

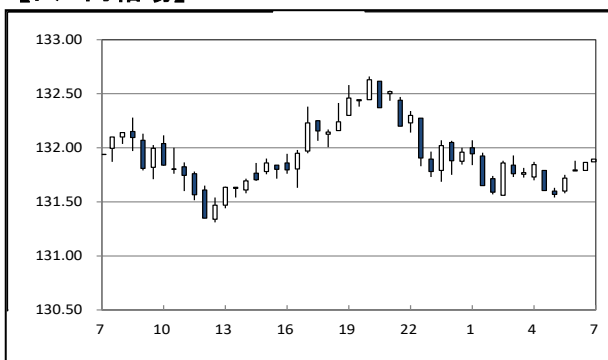
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月6日	19:00	欧 消費者信頼感・確報	12月 -22.2	-22.2
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・速報	12月 -0.3%/9.2%	-0.1%/9.5%
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	11月 0.8%	0.6%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	12月 223k	205k
	22:30	米 失業率	12月 3.5%	3.7%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	12月 0.3%/4.6%	0.4%/5.0%
1月7日	00:00	米 ISM非製造業景況指数	12月 49.6	55.0
1月9日	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	11月 0.2%	0.3%
	19:00	欧 失業率	11月 6.5%	6.5%
1月10日	02:30	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	金利を5.00-5.24%に上昇し長期維持を	
	02:30	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	コア・サービスのインフレ率は望む水準まで低下していない	

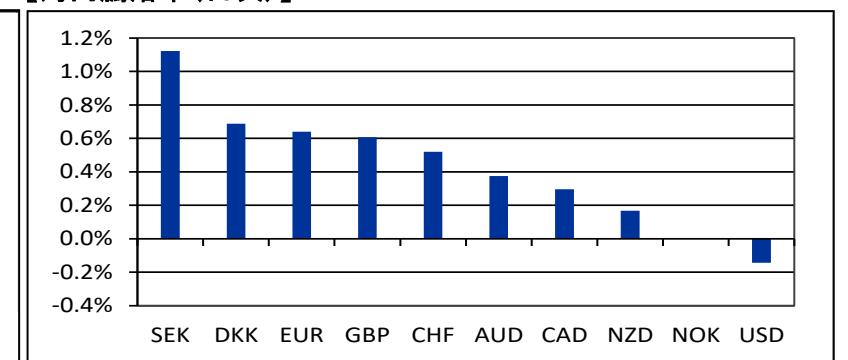
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月10日	23:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
1月11日	00:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	11月 1.0%	1.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	131.00-133.50	1.06400-1.0780	140.00-142.50

【マーケットインプレッション】

先週金曜日のドル円は133円台前半でオープン。前日の流れが続く中、日銀の「YCCの再修正急がず」との報道を受け134.78まで上昇。米12月雇用統計は総じて堅調な結果となった一方、軟調な平均時給を受けて133円台半ばまで急落。ISM非製造業景況指数は予想対比下振れ、132円台前半まで下落した。昨日は東京休日の中、132.00を挟んで上に往って来い。FRB高官の発言もあり株価が下落する中、米金利も低下し、131.90レベルでクローズした。本日のドル円は底堅い推移を予想。先週末の軟調な米経済指標を受けドル円は大きく下落しているが一巡した印象。FRB高官からもタカ派発言が続いている中、本日もパウエルFRB議長の講演が予定されているため、上昇方向への警戒が必要だ。また、本日は5・10日でもあることから実需のドル買いも相応に見込まれるだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・木村